

〔資料2〕 基本的指導過程のモデル

段階	指導過程	生徒指導を配慮した指導過程
計画学習	・基本事項復習 ↓ ・問題点の意識化 ↓ ・学習方法確認	1 生徒の手による前時の基本事項の復習。 2 協力して学習計画を立てる。 3 学習の順序、方法を協力して確認する。 4 課題に対する疑問点を明確にし、問題点を発表する。 5 疑問点を出しあうことによって、学習の幅をふくらませていく。 6 級友の問題点を自分はどう解決するか考えていく。 7 生徒の司会、発表者に協力し、計画学習がスムーズにいくようにする。 8 素朴な疑問点を取り上げ、学習意欲を充実させていく。
	協力学習	1 発表生徒の内容を自分の調べたものと比較しながらちがいをみつけていく。 2 家庭学習での疑問点を級友の発表を聞いて解決していく。 3 級友の発表を聞き疑問に思ったことはそのままにせず質問していく。 4 家庭学習でわかったことは積極的に発表し課題解決に役立てる。 5 資料を駆使し、友人の疑問点の解明にとりくんでいく。 6 小集団学習では、班長、班員の役割を協力して遂行していく。 7 お互いのつまづきを大切に、解明に協力してとりくんでいく。 8 発表者、司会者の任務終了には拍手で認めてやる。
評価学習	・自己評価 ↓ ・相互評価 ↓ ・次時の課題確認	1 本時の学習の疑問点解明を小集団学習ですすめる。 2 相互評価、自己評価で基本事項の定着をはかる。 3 相互評価では班長を中心に本時のねらいと内容を協力して確かめていく。 4 発展的学習課題がないか話し合う。 5 次時の学習課題と解決方法を確認する。 6 小集団学習の協力の姿、家庭学習のとりくみ、授業での積極的な態度について反省する。

〔資料3〕 授業改善のための教師の自己評価カード

	評価観点	評価	生徒指導上の配慮事項
計画学習	1 基本事項の復習	5 4 3 2 1	1 わからない内容を出させる。
	2 学習課題の確認	.. . . .	2 どこまでつまづいているか明確にする。
	3 疑問点のとりあげかた	.. . . .	3 何を学びたいのかどこに興味を感じているかつかむ。
	4 学習計画の順序・方法の確認	.. . . .	4 課題意識を持って参加させていく。
	5 動機づけ、解決への意欲づけ	.. . . .	
	6 生徒指導を配慮した計画学習	.. . . .	
協力学習	1 予習課題でわかったことの発表	.. . . .	1 わかったこと、疑問点は必ず発展させる。
	2 疑問点の解明	.. . . .	2 よく聞き、ささえ合い、わかる喜びを体験させる。
	3 小集団学習の活発化	.. . . .	3 お互いの考えを出しあいねらっている。
	4 弾力的な指導、生徒の考えのとりあげかた	.. . . .	4 まちがいを大切にとりあげ、原因を明らかにする。
	5 段階的な指導の積み上げ方	.. . . .	5 お互いにささえあいながら協力学習をすすめる。
	6 教具の活用、作業化の度合い	.. . . .	6 すばらしい発表にはおしみな拍手をおくる。
	7 生徒間のコミュニケーション	.. . . .	
	8 適切な発問	.. . . .	
	9 わかりやすい説明、指示・提示	.. . . .	
	10 思考の深まり方	.. . . .	
	11 学習のしかたの活用	.. . . .	
	12 生徒指導を配慮した協力学習	.. . . .	
評価学習	1 まとめの方(板書、ノートづくり)	.. . . .	1 学級全体の雰囲気積極的に温かいものにしていく。
	2 自己評価のための問題提示	.. . . .	2 生徒の実態をよく把握してステップごとに確実に学習をすすめる。
	3 基本事項定着のための補充	.. . . .	3 課題意識を持続させ、疑問点は必ず解決する習慣を身につけてやる。
	4 相互評価のための小集団学習	.. . . .	
	5 成就感や発展性への傾向	.. . . .	
	6 生徒指導を配慮した評価学習	.. . . .	
総括反省	〈進歩面〉		〈問題点〉

- 四 研究実践
- 〔研究のねらい〕
- 「課題意識を持ち、自主的に学習する生徒を育てる」ことをねらいとし、実践・研究を進めた。
- (一) 一人一人の生徒の内面的な理解に努める。
- (二) 教師と生徒との信頼関係の確立を図る。

- 1 基本的学習習慣の形成に努めるとともに、教科・教材に応じた学習の仕方をも身につけさせ、自主的に学習できるように援助指導する。
- 2 「学習の手引き」の改善を図り学習の仕方を訓練する。
- 3 授業の質的改善を図り、生徒の発表学習を主体とした授業の研究を深め実践する。
- ① 基本的な指導過程のモデル化
- ② 授業改善のための教師の自己評価カードの活用

- ③ 学習意欲と発表力を高める指導の重点
- ア 学習の「めあて」をもたせる
- イ 学習の仕方を指導し、その活用を図る
- ④ 学習意欲と発表力を高める授業の研究
- 自主的に学ぶ意欲づけは、「学びたい」という生徒の願いを教師の指導によって「学んでわかった」「もっと学びとっていきたい」という意識の高まりが大切である。

- 〔生徒活動部〕
- (一) 研究のねらい
- 「集会活動に自主的に参加し、自らの手で運営できる生徒を育てる」ことをねらいとし、実践・研究を進めた。
- そのためには、日常の授業を生徒側に立って組織し、やる気を起こさせる「わかる授業」「生徒が意欲をもって取り組める授業」をつくり出していくことが、重要である。